



「子どもたちが進学などで都会に出ても、また長浜に帰ってきてほしいな」と、仲間うちで話したことが全ての始まりだったと福永さん。

自身も進学や就職で長浜を離れた経験をもつ福永さんが帰郷するきっかけになったのは、やっぱり生まれ育った長浜が好きだと思えたこと。「仕事の関係もあったけど、曳山まつりの山組のまちで育ち、多くの大人たちに接してもらったことが、嬉しかった記憶として甦った」と話します。

「僕らも、あの頃の大人がやってくれたように、子どもたちと接して、もっと長浜のよさを知ってもらおう」。仲間同士で具体的にどうしたらいいの

かを議論していたとき、市から依頼が舞い込みます。「中学生に長浜のことを好きになってもらえるような事業をやってくれないか」と。まさに「渡りに船だった」と当時を振り返ります。そして、立ち上げたのが湖北学生応援会議「ニョッキッキ」。今から11年も前のことです。

以来、市内すべての中学校から参加者を集めて、ウォークラリーやデイキャンプ、ボランティア活動体験などを実施してきました。参加した中学生は、最初は硬いけれど、徐々に打ち解け、笑顔がこぼれます。福永さんは、そんな姿に出会えることが大変嬉しいそう。そしてこの活動に参加した学生が社会

人となり、今ではスタッフとして活動に帰って来てくれるようになりました。「これこそが、この活動の目的で、すごく感動した」と目を細めます。

昨年、「ニョッキッキ」の活動が滋賀県青少年育成県民会議に評価され、団体の部で表彰を受けました。「11年間続けてこられたのも、いろんな人に支えてもらったお蔭。これからも、中学生同士の交流や世代を超えた人との交流が進み、長浜の暮らしや文化はもちろん、長浜のまちの人を大好きになってもらえるような企画ができるよう、挑戦したい」と、意欲を燃やしています。福永さんの「ニョッキッキ」での活動は、さらに続きます。

## Smile Smile

このコーナーでは、市内在住のお子さんたちの写真を掲載します。笑顔と元気あふれるお子さんたちの写真を募集しています。掲載を希望する人は市民広報課（☎65-6504）まで申込みください。

毎日沢山の幸せをもらっています。これからも綾音ちゃんに楽しんで過ごしてね！産まれてきてくれてありがとう！



山上 綾音ちゃん（平成26年4月生まれ）  
（加田町）

平井 絆菜ちゃん（平成26年5月生まれ）  
（高月町磯野）



初めての誕生日おめでとう！絆菜ちゃんがうまれてから、家族の絆がより強くなつたよ。これからも笑顔いっぱいであってね。

まちの人口	平成27年4月1日現在	人口 121,532人	男 59,385人	女 62,147人	世帯数 44,604世帯
	平成27年3月中の異動	転入 501人	転出 638人	出生 83人	死亡 118人 婚姻 63件



植物油インキで印刷しています。再生紙を使用しています。

「広報ながはま」は、各自治会を通じてお届けすることを原則としていますが、市民交流センターや図書館、公民館など市の公共施設にも置いています。市のホームページでもご覧いただけます。点字広報、声の広報を作成していますので、ご希望の人は市民広報課まで。